

臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立総合病院では、臨床研究倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	非淡明細胞型腎細胞癌における予後因子に関する臨床病理学的検討
研究機関名	静岡県立総合病院、新潟大学、新潟市民病院、新潟県立がんセンター新潟病院、チューリッヒ大学病院、聖隷浜松病院、岐阜大学医学部附属病院、高知赤十字病院、長崎大学病院、愛知医科大学病院、関西医科大学附属病院、旭川医科大学病院、東京女子医科大学病院、岩手医科大学、東北大学、長岡赤十字病院、弘前大学、山形大学、秋田大学医学部附属病院、福島県立医科大学、JA 三重厚生連鈴鹿中央総合病院、和歌山県立医科大学、Verona 大学病院、Pederzoli 病院、University Hospital Erlangen, ミュンヘン工科大学、徳島大学
研究責任者	静岡県立総合病院 病理診断科 主任医長 鈴木 誠 新潟大学医学部病理組織標本センター 助教 大橋 瑠子
研究期間	2019 年 11 月 ～ 2023 年 12 月
対象者	2001 年 1 月より 2020 年 12 月までの 20 年間に当院で手術された腎癌の患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	腎癌はヒト悪性腫瘍のおよそ 3%を占め、その発症率は年々増加傾向にあります。腎癌の組織型では淡明細胞型腎細胞癌と呼ばれるタイプの癌が最も頻度が高く 70-80%を占めますが、それ以外のタイプの癌は稀なためにその特徴や予後、有効な治療法について未だ十分に解析されていないのが現状です。単施設での症例数は限られていますのでさらなる検討をすすめるため、本研究では国内外の複数の大学や病院と協力して腎癌の臨床病理学的・分子生物学的な特徴を明らかにし、発症や進行のメカニズムの解明、より有効な診断手法の開発、発症予防、新たな治療法の開発に貢献することを目的としています。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査します。 ・背景因子（年齢、性別など）、 ・臨床データ（画像検査結果、病理検査結果など） ・転帰（再発の有無など）

個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
間合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立総合病院　病理診断科　主任医長　鈴木　誠 代表 054-247-6111